

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	安全・安心のための子どもの健康対策支援事業		<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度		<b>担当課室</b>	学校健康教育課		学校健康教育課長 大路 正浩			
<b>会計区分</b>	東日本大震災復興特別会計		<b>施策名</b>	Ⅱ-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進					
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	—		<b>関係する計画、通知等</b>	東日本大震災からの復興の基本方針 (平成23年8月11日改定 東日本大震災復興対策本部)					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	福島第一原子力発電所事故により、子どもの健康への影響に対する不安が全国的に広がっている中、児童生徒等の健やかな体の育成やより一層の安全・安心を確保するための支援を行う。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	児童生徒や保護者のより一層の安全・安心の確保の観点から、学校給食における放射性物質を測定するための学校給食の検査や放射線に対する不安により屋外活動を控えている児童生徒の精神的ストレスや運動不足を解消するための医師やスポーツトレーナーの派遣などへの支援を実施する。								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	883	
		補正予算							
		繰越し等							
		計						883	
	執行額								
	執行率(%)								
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	<b>成果指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	学校給食の放射性物質測定検査や、医師・スポーツトレーナーの派遣等を実施する事業であり、定量的な数値目標等を定めることは困難であるが、定性的な目標として、児童生徒等の健やかな体の育成やより一層の安全・安心の確保を図ることを目指している。		成果実績						
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	<b>活動指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	事業を実施する都道府県等の数		活動実績(当初見込み)	箇所	—	—	—	※25年度の活動見込みである (67)	
<b>単位当たりコスト</b>	13.2百万円		算出根拠	単位当たりコスト=委託費総額(882.6百万円)/事業実施箇所数(67)					
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	職員旅費	—	0.4百万円						
	初等中等教育等振興事業委託費	—	882.6百万円						
	計	—	883百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	福島第一原子力発電所事故により、子どもの健康への影響に対する不安が全国的に広がっているから、国として、子どもの健康対策を実施し、児童生徒等の健やかな体の育成やより一層の安全・安心の確保を図る必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先は、各地域において、関係団体と連携し円滑に事業を実施することが可能な都道府県教育委員会等を想定している。その選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募を実施し、その妥当性や競争性を確保する。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業により、学校給食の放射性物質測定検査や、医師・スポーツトレーナーの派遣等を実施することは、放射線による健康上の不安を解消し、子どもの健康対策に資すると判断している。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>福島第一原子力発電所事故により、子どもの健康への影響に対する不安が全国的に広がっており、放射線による健康上の不安を解消することが喫緊の課題となっている。定量的な成果目標等を定めることは困難であるが、本事業により、学校給食における放射性物質を測定するための学校給食の検査や放射線に対する不安により屋外活動を控えている児童生徒の精神的ストレスや運動不足を解消するための医師やスポーツトレーナーの派遣などへの支援を実施することは、子どもの健康対策に資すると判断している。本事業は、児童生徒等の健やかな体の育成やより一層の安全・安心の確保を図るものであり、当省で行う必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、定性的な内容ではあるが成果目標が立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p> <p>○東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年8月11日改定 東日本大震災復興対策本部)  <a href="http://www.reconstruction.go.jp/topics/110811kaitei.pdf">http://www.reconstruction.go.jp/topics/110811kaitei.pdf</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省  
883百万円

教職員研修費 0.4百万円を含む

〔安全・安心のための子どもの健康対策支援事業の委託〕



【公募・委託】

A.都道府県教育委員会等(全66機関)  
882.6百万円

〔学校給食安心対策事業、学校保健対策支援事業の実施〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.都道府県教育委員会等(全66機関)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	学校給食安心対策事業、学校保健対策支援事業	882.6			
計		882.6	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)